秋出しストックの栽培暦（直まき）

	6			7			8			9			10			11			12			1			2			3		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
春出し栽培	8/10○----------□□■■■■□□																													
	8/20○----------□□■■■■□□																													

注）○：播種　■：開花

品種
雪波・朝波
ｱｲｱﾝｼﾘｰｽﾞ
＜ｽﾌﾟﾚｲ＞
ｶﾙﾃｯﾄｼﾘｰｽﾞ

☆栽培のポイント

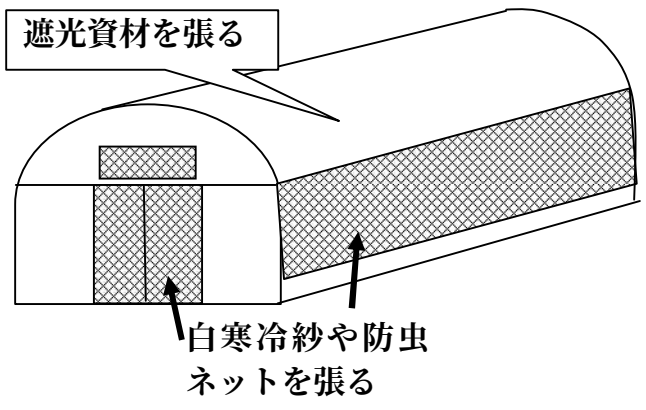
- ストックは八重と一重が混ざっており、おおむね半分が八重。
- 通常は八重が好まれるため、育苗中に八重鑑別を行い、八重株を残して定植する。
- コナガがつきやすいので防除を徹底する。
- 冬季間の菌核病、灰色かび病など病害の発生予防。
- 最低温度５℃と日中 20℃以下の確保。

１　は種準備

＜ハウス準備＞

コナガ予防のため、開放部（サイド、妻面）に白寒冷紗＃300 を張る。

は種３日以上前から遮光率 30～50%の遮光資材を張り、地温を下げる。



＜土壌消毒＞

立ち枯れ病等の土壌病害虫防除と雑草防除のためにﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ剤等で行う。

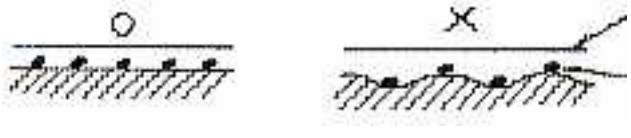
施肥例（10a あたり）

基肥	ﾛﾝｸﾞ 100 有機&ｴｲﾄ （苦土重焼燐 苦土石灰	110kg 60kg 20kg） pH に応じて
追肥	有機&ｴｲﾄ	30～60kg

２　は種

☆重要なポイント☆

ほ場はできるだけ均平にし、覆土を均一にする。
発芽を揃えることが八重鑑別成功のポイント。



栽植密度　条間 15 ㎝×株間 15 ㎝、6～8 条植え。

＜温度管理＞

発芽適温：20～25℃（暑いと発芽不良）
発芽日数：３日
ハウス換気の徹底：通風良くして涼しく管理
遮光：は種後 10 日程度。温度低下、乾燥防止のため

＜水管理＞

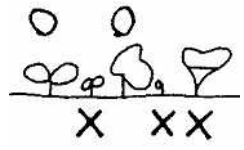
・は種～発芽：乾かさないようにかん水。

・子葉展開～定植：晴天時は１日 1～2 回かん水。
夕方には地表面が乾く程度にする。

３　八重鑑別

＜１回目＞　予備鑑別

発芽揃い（は種後 7～10 日）頃、発芽が遅れたものを間引く。ラッパ葉を間引く。

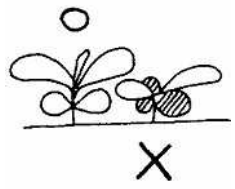


＜２回目＞　本鑑別

は種 12～20 日後。本葉が見える頃。

① 子葉が大きい
② 子葉の色がやや淡い
③ 胚軸が伸びている
→ 八重株を１本残す

少し徒長したような苗



４　その他の管理

＜追肥＞

定植２～３週間後ころ 10 坪あたり１～２kg 追肥し、条間を軽く中耕する。

＜ﾌﾗﾜｰﾈｯﾄの設置＞

草丈 20cm くらいまでに 15 ㎝×15 ㎝のネットを設置する。

＜水管理＞

・活着～発らい前：十分にかん水し、草丈確保。
・水切り：発らいを始めたらかん水は控えていく。
冬季間乾きすぎるようなら晴れた日に軽くかん水する

＜温度管理＞　最低温度の管理目標：３～５℃

十分に換気を図る。
外気温が 5℃を下回る 11 月下旬から保温を開始する。

＜その他＞

ｽﾌﾟﾚｲの品種は頂花を摘心する。

５　病害虫防除

コナガ、ハモグリバエなどに注意
10 月上旬までは防除を徹底する。